

第五十九回 健康な人と病人との違い

健康な人、たとえば下顎を右にイッパイにズラしますと必ず反対の左足はメス側の骨である側頭骨は後に押されて、この場合の側頭骨は時計の針と同じ方向に回転するものです。

反対側は下顎が前方に移動する為にその側の側頭骨の顎関節部は前方にズレる様な回転のネジレを起こすものです。

頭蓋骨は骨盤とお互いに補正しているものです。骨盤の真中である仙骨は、逆二等辺三角形の形で背骨とお尻の尾骨との間の骨です。

この仙骨の左右両端の骨が腸骨で骨盤のこの3つの骨でなっています。

この腸骨と頭蓋骨の側頭骨はお互いに補正するものです。仙骨は頭蓋骨の後頭骨とお互いに補正するものです。

左右の側頭骨は互いに逆方向に捻れ回転する為に骨盤の左右の腸骨も逆方向に捻れ左右の足の長さが違って来るものです。

左右の腸骨もお互いに逆方向に捻れるものですから、骨盤の真ん中の仙骨も捻れ、当然、頭蓋骨の後頭骨も捻れ、頭蓋骨全体も捻れ、頭蓋骨と骨盤も捻れるものですから、その間の首の骨、背骨も捻れをおこして、体を補正するものです。

ところが病的な人は、下顎を右にイッパイにズラしても反対側の左足の長さは全く変化しないか、又は少ししか変化しないかどちらかです。当然下顎の左にイッパイにズラしても同じです。

このような場合、頭蓋骨全体の骨と骨との隙間が圧縮された状態になり、首の骨、背骨は前方にズレをおこすものです。その為に全身の血流が悪く特に自覚症状が出やすいのは首の骨の上から2番・3番が前方にズレますと不眠症、背骨の1番・2番は心臓がたまに…。

背骨の3番は息が……。背骨の1番下の腰椎5番ですと前立腺・子宮に異常、その上の腰椎4番ですと大腸です。

大腸は女性の卵巣と男性の精巣の関係、腰椎3番は腺と名のつくものとの関係、甲状腺、扁桃腺、乳腺とか…ですが、女性では生理痛、生理不順と関係しているものです。

又は急におなかが痛くなったりするものです。

全身の血流が悪くなりますと目をさました時、全身の痛み又は重ダリと訴えるものです。

このようなタイプは神経伝達システムの不良ですので何をしても無反応です。左足の長さの変化は全く反応なしです。

ところが健康な人でも、電燈(蛍光灯)がついている室内、空調器具などのモーターが回っている室で大きく手を振って足踏みをさせた状態でチタン製品を4~5mくらい近づけずと急に足が重く感じるものです。但し、スポーツマンタイプの足腰が強い人はあまり感じないものですが、右腕を水平に、肘を真スグに伸ばした状態で他人に手首を下に押しもらおうと力が入らない状態になるも

のです。

又はリモコンスイッチには乾電池が入って通電しています。

これも体の 40cm 以内に近づけますと同じ症状が出ます。自分の体に合わない 薬も同じです。

メガネのレンズの度数が合わない時も同じです。

入れ歯を外した時も同じです。

夜は入れ歯を外して粘膜を休ませましょうというのは全くのウソです。入れ歯だけでなく、歯が 1 歯だけでも抜けたままにしますと首の骨は前方にズレ、背骨も前方にズレ、頭蓋骨にも異常をおこし全身の血流が悪く病的な状態になるものです。

この様に健康な人は、短時間ならばすぐに正常に戻りますが、長時間続けていますと、健康な人でも病的な人になってしまうという事です。

もう一つ不思議な事があります。

病人の人に健康な人が 1m 以内に近づきますと、仮に病人が肝臓と心臓、足首に異常を起こしていますと健康な人も病人と同じ体の部位が反応をおこすものです。すぐに 1m 以上離れますと反応が消えますが、いつ迄も近づいています と病気をもらうことになります。